

まが玉のつくいかた



稲荷山古墳出土まが玉(実物大)

さきたま
古墳群
歴史
公園



埼玉県のマスコット「コバトン」

埼玉県立さきたま史跡の博物館

日本では、縄文時代以来、神秘的な力を持つと信じられていた「まが玉」。特に古墳時代には、ヒスイや滑石、

水晶などの石材で、まが玉がつくられ、豪族たちの身を飾っていました。埼玉古墳群の稲荷山古墳からも、ヒスイ製のまが玉が出土しています。

ここでは、滑石というやわらかい石を使って、自分だけのオリジナルまが玉をつくってみましょう！



埼玉県の県章には、16個のまが玉が使われています。

- ①水を張った容器に網のヤスリを入れます。
まずは、背の部分からけずります。



※スーパーなどのトレーがおすすめです。

- ③内側は、ヤスリを棒に丸めてけずると、
きれいにけずれます。



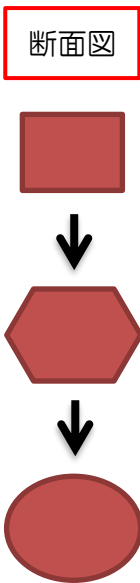
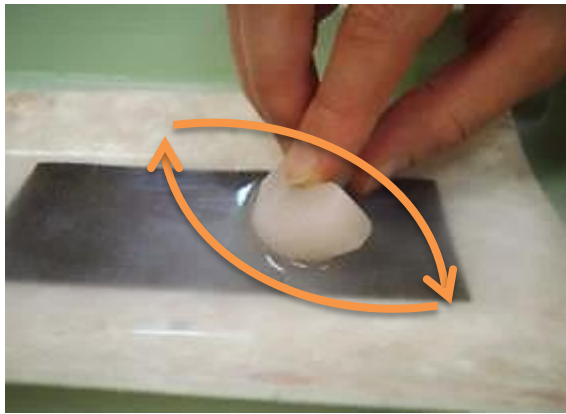
- ②手首を動かしながら、まが玉の
背の部分を丸くけずりましょう。



- ④まわりがけずれたら第1段階終了です！



⑤ヤスリに対してまが玉を約 45 度傾けて角をけずります。円をえがくように両側をけずりましょう。



⑥内側は、ヤスリを丸めてななめに当ててけずります。



⑦ヤスリを全体に回しながらあてて丸くしましょう。平らな部分や角がなくなるまでけずります。



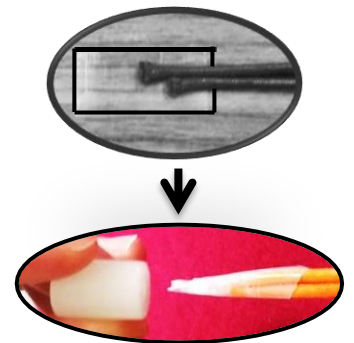
⑧形ができたら、容器の水をかえて、黒いヤスリで、みがきましょう。最後にフェルトでみがくとツヤが出て完成です。



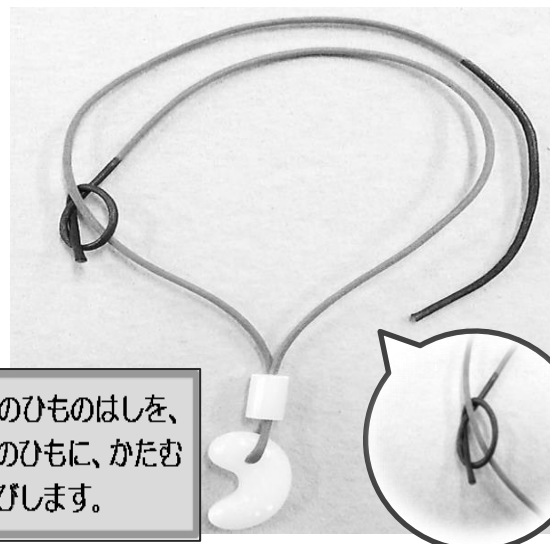
ネックレスのつくり方

まが玉が完成したら、まが玉をネックレスにしましょう。

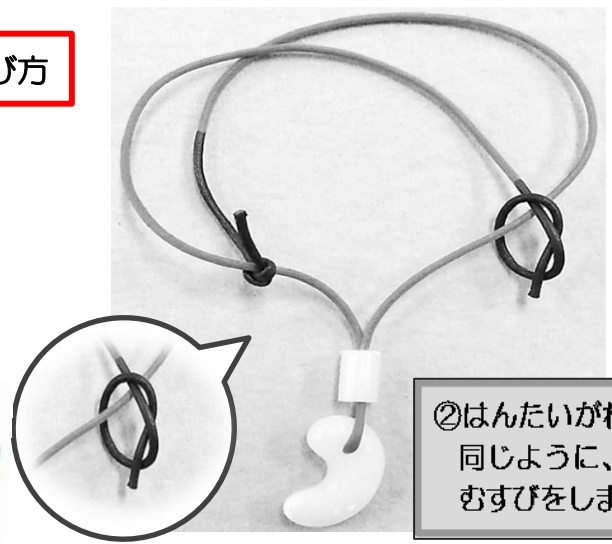
- ①まが玉にひもを通します。
- ②次に、くだ玉(小さい玉)にひもを2本合わせて通します。
(通らない時は右のように、ひもをセロハンテープで巻いて入れてみましょう。)
- ③下のように、ひもをむすびます。
- ④ネックレスの完成です！



ひものむすび方



①右のひもはしを、左のひもに、かたむすびます。



②はんたいがわも、同じように、かたむすびをします。